同社を起業。とくに人材育成を強化し、6名だっ

スキルと

磨いて

に貢献

古賀詳二

た社員が現在100名以上に。

売 上 高 11億1,203万円[2023(令和5)年3月期]

U R L https://www.kogasoftware.com/

事業内容 ソフトウェア受託開発及び高齢者福祉製品研究開発

1955年11月生まれ。長崎県出身。1977年

大分大学工学部組織工学科を卒業し、同年4 月、ソフトウェア興業に入社。3K職場が蔓延す

るソフトウェア業界を変革するため、2000年に

代表取締役

人間性を

未来社会

コガソフトウェア 株式会社

コガソフトウェア

エンジニアが安心して 働ける環境を築く

弊社はシステム開発を行うIT企業です。かつては、IT企業と いえば「3K(きつい、帰れない、給与が安い) |職場と言われた ものでした。私は、そうした業界の現状を打破し、「エンジニアが 安心して働ける環境を作ろう|という思いで、2000年に弊社を

立ち上げたのです。 目標としたのは、技術者が持てる技術を最高に発揮できる 会社にすること。スキル追求のみならず人間形成を促す場にな ること。そして、利益第一主義ではなく顧客満足度第一主義で あること。そのために私は、社員の国家資格取得を奨励し、お 客様の信頼を得ると共に自信をつけてもらい、生産性を上げる ことに取り組みました。さらに、プログラミング能力はもちろん、設 計力、想像力に秀で、人格も優れた人材の育成を図ってきたの です。こうした優秀な社員たちの努力のお陰で、弊社にはノル マも売上目標もないにも関わらず、創業以来22年連続で黒字 決算を達成しています。ここ5年間の平均残業時間は月10時 間、有給取得率は90%です。その結果、2019年には健康企業 宣言東京推進協議会より「健康優良企業」に認定され、取引 先も通信、金融、医療などあらゆる分野に及ぶようになりました。 弊社は中小企業ながら、関わるプロジェクトは大学など外部機 関との共同作業が多く、スケールが大きいのも特徴で、技術力

社会への有益性を起点に 医療や福祉の分野に進出

では日本トップクラスであると自負しています。

私には、コンピュータシステム開発を通じて、日本の発展や日 本国民の福祉に貢献したい、さらに、他社ができないことを追 求したい、という思いがあります。その思いが実を結んだのが、 AIを活用し、医療難民や買い物難民の移動を支援する「孝行 デマンドバス」の開発・サービス提供であり、運動プログラムの 自動作成で認知症や生活習慣病の予防を支援する「メディカ ルフィットネス」のシステム開発です。少子高齢化は日本を始め とした世界の問題であり、医療、介護、福祉の分野に力を尽く すことは、必ず世の中のためになります。「何をすれば儲かる か」を考えるのではなく、「何が社会にとって有益なのか」を起

点に事業展開すれば、自ずと周りの支持を得ることができ、そ

れが収益へと還元されるのです。

この仕事のやりがいは、プロとしてプライドを持って課題に取 り組み、自己満足ではなく相手の満足を追求することによって 生まれます。大切なのは、自分の仕事が社会の役に立っている と実感することです。人は、世の中に感動を与えたときこそ、自 分の成長を感じることができるのではないでしょうか。

次世代が生きる未来を 見すえた仕事を共に

私が社員に求めるものは単純です。嘘をつくな、隠し事をす るな、人のために仕事をしよう。ダメになる企業には、必ず嘘や 隠し事が潜んでいます。節税に血道を上げるのではなく、正し いお金を稼いで、たくさん納税するのが本当の人格者ではな いでしょうか。ひと言で表現すると、私は社員に「あなたを産ん

で良かった」と親に言わせる人になってほしいのです。 IT企業の宝は人材です。日本には人をきちんと育てない企 業が多く、トップは売上など数字しか語りません。だから日本の 若者は夢を持てないし、日本企業の競争力は下がるばかりな のです。私は企業トップとして目指すべき夢を語ります。自分も そんな社会を実現したいと思ってくれる方がいれば、ぜひ弊社 に来てください。今日明日の結果ではなく、次世代が生きる未

来の世界を見すえた仕事に、ともに挑戦していきましょう。



▲ 社内の雰囲気はじつに和やか。社長を「古賀さん」と呼ぶフラットな社風も魅力。

立 2000(平成12)年3月







▼ 企業公式サイト